

ら名どはそらにをほえうかぶをいみじきことに思ふに夢にいとよげなるそうのきなる地のけさ著たるが来て、法花經五卷をとくならへといふと見れど、人にもかたらずならはんともおもひかけず、物がたりのことをのみ心にしめて、我は此ごろわろきぞかし、さかりにならば、かたちもかぎりなくよく、かみもいみじくながくなりなん、ひかる源氏のゆふがほ、宇治の大將のうき舟の女ぎみのやうにこそあらめと、おもひける心、まづいとはかなくあさまし。

〔沙石集 四上〕無言上人事

人ゴトニ我好ム事ニハ、失ヲ忘レテ愛シ、我ウケヌコトニハ、失ヲ求テソシル、然レバ我好マン事ニハ、失有テ、人ノソシラン事ヲカヘリミテ、カタク執スベカラズ、ワガウケヌ事ニハ、得ノ有コトヲカンガヘテ、アナガチニソシルベカラズ、是達人ノ意モチナルベシ、略 或入道園基ヲコノミテ、冬ノ夜ヨモスガラ打アカス、中風ノ氣有テ、手ヒユル故ニ、カハラケニテ、石ヲイリテ打、油ツクレバ萩ヲタキテ打ニ、灰身ニカ、レバ、笠ウチキテ打アカス由、近程ニテ聞侍キ、坐禪修行ナンド、コレホドニセン人、悟道カタカラジ、又有下手法師、酒ヲアヒスル有キ、直モナキマ、ニ、一衣ノカタ袖ヲトキテカヒテ飲ケリ、是ホドニ、三寶ヲモ供養シ、父母ニモ孝養シ、悲田ニモ施シ、惜ム心ナクバ、感應ムナシカラジ、物ノナキト云テ、善事ヲ行セヌハ、物ノナキニハアラス、タゞ志ノナキナリ、或入道餅ヲ好ム、醫師ナルユヘニ、請ジテ主ジ餅ヲセサスルニ、カノ音ヲ聞テ、始ハ小音ニオウオウト云ホドニ、次第ニ高クオウ、ト鞠ナンド乞様ニヲメキテ、ハテハ壘ノヘリニツカミツキテ、入道ガキカヌ所ニテコソシ候ベケレ、カノツク音ヲ聞候ヘバ、タエガタク候トテ、モダヘコガレケリ、此事ハカノ主ノ物語ナリ、佛法ヲ愛シ、佛ノ音聲ニ歡喜ノ心カ、ラン人、得果疑ナカラシ、コレホドノ事ハマレナレドモ、人ゴトニアヒスル事有、セメテ物愛シセヌモノハ、或ハ晝寢ヲ愛シ、或ハ徒ナルヲアヒス、南都ノ或ル寺ノ僧、朝ノ粥ヲクハズシテ、日高マデ眠ル、イカニ粥ハメ